令和８年 10 月吉日

第 23 回 徳島県作業療法学会
学会長　秋山　健太

「第 23 回 徳島県作業療法学会」についてのお知らせ

謹啓　秋晴の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、（一社）徳島県作業療法士会に対してご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第 23 回 徳島県作業療法学会の参加申し込み方法や、参加費等の詳細が決まりましたのでお知らせ致します。会員の皆様のご参加を賜りまして活気ある学会となりますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 日　　時：令和 8 年 12 月 20 日（日）9:00～受付

2. 会　　場：専門学校　健祥会学園（〒779-3105 徳島市国府町東高輪 396 番地 1）

3. 形　　式：ハイブリッド形式

4. プログラム

9:40～　開会式

10:00～　特別講演

『作業療法は社会でどこまで活きられるのか？－専門性を社会にひらく「越境力」とは－』

講師　株式会社 Canvas
代表取締役　元廣　惇　先生

司会　一般社団法人　徳島県作業療法士会　常務理事
むつみホスピタル　訪問看護ステーションビオス
秋山　健太　先生

11:30～　昼休憩

12:30～　教育部チャンネル学会編 1
教育部チャンネル学会編 2

13:30～　一般演題　セッション①・②（口述発表）

14:30～　一般演題　セッション③・④（口述発表）

15:40～　閉会式

5. 一般演題

【演題セッション①】(4 演題)　　会場：3 階　特別講義室

座長：専門学校 健祥会学園　奥野　剛史　先生

①徳島県内の医療機関における自動車運転再開支援の実態と課題

徳島大学病院　大前　博司　氏

②手指骨折後の拘縮に対して, 屈筋腱剥離術後のスプリント療法の経験

徳島市民病院　永野　達郎　氏

③中節骨・基節骨骨折後の術後拘縮の改善に難渋した症例

徳島市民病院　藤原　大河　氏

④膠芽腫により抑うつ状態となったが, 作業的存在となることを目指し「生きる価値」を取り戻した一症例
—生活の一部である作業に対して実践した ICF に基づく包括的作業療法介入—

徳島赤十字病院　吉田　絢美　氏

【演題セッション②】(4 演題)　　会場：2 階　レクリエーション室

座長：杜のホスピタル　中井　卓　先生

①幻覚状態を伴う後期高齢者（90 代後半）に対する役割再構に焦点を当てた作業療法の一例
～「もっともっと生きてやる」～

杜のホスピタル　桑原　真実　氏

②地域での安定した生活を目指して入院時よりクライシスプランを用いた症例

TAOKA こころの医療センター　横瀬　友洋　氏

③場面緘黙により社会参加が制限された患者に対する外来作業療法での介入事例

TAOKA こころの医療センター　藤井　恭平　氏

④精神科デイケアに求められる支援の在り方
—高齢統合失調症患者へ関わりを通して—

むつみホスピタル　新居　貴文　氏

【演題セッション③】(3 演題)　　会場：3 階　特別講義室

座長：株式会社 ReBirth Tone　村上　義和　先生

①GAS を用いた介入が自発動作を拡大させた頚髄損傷症例

とくしま医療センター西病院　川原　裕治　氏

②認知症者に対するドールセラピーの導入効果を A-QOA を用いて分析した結果

博愛記念病院　瀬河　亮介　氏

③脳卒中発症早期より BMI 治療を実施したアテローム血栓性脳梗塞の一例

博愛記念病院　武田　晃輔　氏

【演題セッション④】(3 演題)　　会場：2 階　レクリエーション室

座長：大久保病院　吉野　哲一　先生

①精神障害者ピアサポートグループ立ち上げ過程における作業療法士の役割

杜のホスピタル　石川　聡　　氏

②精神障害当事者の居場所としての地域スポーツ活動

凪の音ホスピタル　磨野　弘樹　氏

③認知症診断後, 服薬・介護保険を利用せずオンラインの自費リハビリで認知機能が劇的に改善した一症例

株式会社 LAPRE　日下 真理子　氏

6. 参加費：県士会員：1,000 円、学生　無 料

その他の医療従事者（医師・PT・ST・他県士会員等）：2,000 円

※会費を納入していない県内作業療法士の方は今年度県士会費として参加費と別に 9,000 円をお支払いいただきます。

7. お問い合わせ

〒776-8588　徳島県吉野川市鴨島町内原 432 番地

医療法人 徳寿会 鴨島病院 リハビリテーション部　佐尾山　諭

TEL：070-8848-5477（窓口専用携帯）　FAX：0883-24-6565

Email：awa.ot.gakkai@gmail.com

8. 注意事項

会場におきましては、下記の感染対策を実施いたします。ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

・会場入口での検温実施（37.5℃以上が検知された場合、入場をご遠慮いただく場合がございます)。

・マスクの着用は個人の判断に委ねることを基本とし、会場内ではマスクの着用を推奨します。

・こまめな手指消毒（会場内に手指消毒用のアルコールを設置します)。

・昼食は 3 階特別講義室内でのみお取りいただけます。

・会場内の換気（会場のドアまたは窓を状況によっては開放した状態でプログラムを進行します)。

9. 事前参加申し込み方法

申し込みは下記 QR コードからお願いいたします。

※申し込み後、3 日間を過ぎても返信が無い場合は、お手数ですが窓口専用携帯へご連絡ください。

※締め切り：令和 8 年 12 月 1 日（火）必着

※内容にご不明な点があれば、問い合わせ窓口までご連絡をお願いします。

https://forms.gle/p4V21ToMxbJUkhmo6

特別講師紹介

◆ 特別講演　　10：00～

『作業療法は社会でどこまで活きられるのか？－専門性を社会にひらく「越境力」とは－』

講師　株式会社 Canvas　創業者・代表取締役　元廣　惇　先生



【講師略歴】

博士（医学）　認定作業療法士　国家資格キャリアコンサルタント

・株式会社 Canvas　代表取締役（健康経営支援事業、FC 事業、SaaS 事業、研究開発事業）
・株式会社 Weave　代表取締役（キャリア支援事業、専門職教育事業）
・国立大学法人島根大学 研究・学術情報本部 CoHRE（The Center for Community-based Healthcare Research and Education）客員教授
・高知健康科学大学　健康科学部　客員教授
・Princess Srisavangavadhana Faculty of Medicine Chulabhorn Royal Academy 非常勤講師
・国内複数大学　非常勤講師・招聘講師
・協同組合山陰キャリア開発　理事（人材育成・定着、採用、組織風土改善など）　　等

島根県出身。作業療法士免許取得後、複数の医療機関で臨床経験を積む。30 歳で地域で最も歴史ある作業療法士養成校の学科長に歴代最年少で就任し、学科運営・ブランディング、地域課題解決型教育、産官学金連携、新設大学の認可申請などを主導した。これらの経験を基盤に、2021 年、地域共創ベンチャーである株式会社 Canvas を創業。5 年間で全国 60 を超えるエリアに「健康経営×フランチャイズ×IT」事業を展開し、地域ごとの課題に応じた支援モデルを構築した。同社は、経済産業省・中小企業庁「地域課題解決事業推進に向けた基本指針」にローカルゼブラ企業のモデルとして掲載されている。現在は代表取締役として経営全般を担う。

国立大学法人島根大学研究・学術情報本部 CoHRE 客員教授、高知健康科学大学健康科学部客員教授を務め、国内外の研究者と企業の健康経営に関する産業衛生研究を進めるとともに、大学・企業との開発事業に参画している。Princess Srisavangavadhana College of Medicine, Chulabhorn Royal Academy（Thailand）をはじめ、国内外の複数大学で非常勤講師を務め、行政、企業、団体、学会などで 150 回以上の講演を経験。コンサルタントとしても、全国の会社法人、学校法人、創業者、個人など 200 件以上の創業・経営・キャリア支援に携わっている。

近著に『21 人の作業療法士とひらく、私らしいキャリアの物語』（医学書院）、『働くひとと「ともに創る」作業療法』（クリエイツかもがわ）、『セラピストのキャリアデザイン』（三輪書店）。主な受賞歴に、全国法人会健康経営大賞 2022 最優秀賞・2023 優秀賞（顧客事例）、Tokyo Design Week Award 2016 などがある。

教育部チャンネル 学会編について

作業療法士の活躍の場は、さまざまな領域へと広がっています。
今回は、マネジメント、起業、司法領域、スポーツとメンタルヘルス、産業作業療法など、
多様な分野で活動する作業療法士を迎えます。

現在の活動につながったきっかけや出会い、転機、迷い、最初の一歩などを、対話形式で
掘り下げていきます。
それぞれの歩みに触れながら、「自分はこれからどんな作業療法士として活きていきたいか」を
一緒に考えてみませんか。

終了後には、コーヒーやお茶菓子を囲みながら、登壇者や参加者同士で気軽に交流できる時間も
設けています。ぜひご参加ください！

教育部チャンネル 講師紹介

Session 1　　組織・社会の中で、自分の役割をひらく

＜マネジメント＞



平成医療福祉グループに入職し、グループ内の複数の病院で臨床に携わってきました。
現在は徳島平成病院のリハビリ部長として、スタッフとともにリハビリ部を運営
しています。
「マネジメント」は、作業療法の視点を、
一人の患者さんから“チームや組織”へ広げることだと感じています。
私が役職（管理職）になるにあたり、大きな決意や転機があったわけではなく、
好きでやっていたことが、気づけば“マネジメント”だった。
そんな、ちょっと肩の力の抜けた歩みをお話しします。

徳島平成病院
柳本　麻里 先生

＜起業・訪問看護ステーション経営＞



医療法人橋本病院にて 11 年間勤務した後、
株式会社を設立し訪問看護ステーション経営を行っています。
「経営者からの視点」
普段皆様も日々、リハビリを行い診療報酬などを得る事で勤務先から報酬を
頂いているかと思われます。
その中で、自分が行ったリハビリ単位数に比べて手元に得られる報酬に不満を
感じたこともあるのではないでしょうか。
雇用されていた時には知らなかった「見えないお金」。
その部分も少しだけお話できればと思います。

訪問看護ステーションは～と
松村　幸治 先生

＜司法領域＞



学生時代に先生方から教えていただいた「学ぶことの楽しさ」が、今の自分の原点です。
全国学会で少年刑務所における OT の実践を知ったことをきっかけに、
司法領域に挑戦することとなりました。
お話をいただいた際には不安もありましたが、一緒に頑張ろうとしてくれる
仲間がいたことが、挑戦する後押しになりました。
司法領域については、私自身も実践を通して学んでいる最中です。
これまでの実践と学びについてお伝えできればと思います。

リハビリテーション大神子病院
佐伯　浩佳 先生

Session 2　　生活・参加・働く場へ、作業療法をひらく

＜スポーツ×メンタルヘルス＞



双極性障がいを抱えながらも、作業療法士・サッカー指導者・フットサル選手の
マルチプレイヤーとして活動しています！
仕事は児童発達支援・放課後等デイサービスで作業療法士として発達障がいを
抱える子どもたちの療育支援に携わっています。
またソーシャルフットボール徳島県代表チームの『徳魂！』に所属し、活躍しています！
四国選抜メンバーに選出され、四国代表として全国大会への出場もしています！
さらには、ソーシャルフットボール日本代表強化指定選手のセレクションにもチャレンジ
し、日本代表入りの夢へ向けてチャレンジし続けています！
また、指導者ライセンスを取得して、ボランティア・インクルーシブ活動で子どもたちの
サッカーの指導やサッカー教室のサポート等に携わり、子どもたちの居場所作りや運動の
楽しさを知ってもらうきっかけ作り、居場所や夢作りへの懸け橋となるように地域・
社会貢献にも励んでいます！
当事者としての経験を伝えたり、
未来に向かって頑張る姿を行動で示して見本となることで、
1 人でも多くの人たちが感化され、障がいを抱えながらも高い夢や
目標をもってチャレンジしてもらえたらなと思います！

株式会社フリーリア　ルミナスキッズ
三原　佑太 先生

＜精神科作業療法・産業作業療法＞



精神科作業療法士 12 年目。臨床で触れる患者さん達から日々多くのことを
学ばせてもらっています。
その中で私が最も大切にしていることは、
“型にはまらないこと”
医療でしか働いたことはありませんが、常に学び、柔軟であろうと努めています。
そういうスタンスが発展してこれまでの様々な取り組みにも
繋がっているように感じます。当日はぜひ、参加者の皆さまの体験や
考え方などについても学ばせていただきたいと思います。

TAOKA こころの医療センター
藤井　恭平 先生